

第7回 明治大学連合父母会文学賞 表彰式参加報告

2016年2月26日(金) 18:00～

於：リバティータワー23階 岸本辰雄ホール

文学、演劇、芸能の分野にも多くの優れた人材を輩出し、独自の校風を築いてきた本学において、在籍者の意欲的な課外活動を奨励するため連合父母会により設立された明治大学連合父母会文学賞。

文学賞は2部門あり、それぞれに本学卒業生である特別功労者の名前を冠して故人の業績を顕彰しています。



文学賞の表彰式も今年で7回目を迎え、会場には平日の夜にもかかわらず、各方面から大勢の方々がお祝いに駆けつけました。神奈川県東部地区父母会からは齋藤会長をはじめ12名の役員が列席しました。

表彰式は、青谷連合父母会副会長の司会によりご来賓の紹介に始まり、川本連合父母会長及び運営実行委員会委員長である石川文学部長によるご祝辞の後、連合父母会名誉会長である福宮学長からのご祝辞をいただきました。ご来賓の中には、倉橋由美子先生のご令嬢、熊谷さやか様と、阿久悠先生のご子息、深田太郎様もいらっしゃいました。

今年は第一部門の倉橋由美子文芸賞（小説）には4年ぶりの大賞と佳作3作、阿久悠作詞賞（歌詞）には佳作3編が選出され、留学中の方を除く6名の受賞者に賞状の授与が行われました。

その後、選者からの講評をいただきました。

倉橋由美子文芸賞は、3名の選者を代表して越川文学部教授より講評をいただきました。

個々の受賞者の創作スタイルについて詳細な分析とアドバイスがあり、「先人の良い作品を読んで吸収することが大切」とのこと、それぞれの受賞者が参考にすべき文学作品の書籍のプレゼントがありました。

阿久悠作詞賞も、選者のエイベックス・エンタテインメント顧問の飯田様より講評をいただきました。

時代の飢餓感を嗅ぎ取ってドラマとし作品を生み出していた阿久悠氏のお話をいただき、同氏が評価していた桑田佳祐氏のエピソードから受賞者にサザンオールスターズの最新アルバムのプレゼントがありました。

受賞者挨拶と記念撮影で表彰式が終了した後は祝賀会が行なわれました。

祝賀会の中では、熊谷様から文芸賞受賞者に倉橋先生の著書が記念品として手渡され、受賞者やそのご家族のスピーチなどもあり、終始和やかな雰囲気のうちにお開きとなりました。

受賞者の皆様、受賞おめでとうございます。

この文学賞が、本学が幅広い分野に多くの人材を輩出することの一助になることを願うとともに、父母会が意欲ある学生たちを応援していきたいと気持ちを新たにしました。

受賞作掲載 HP

<http://www.meiji.ac.jp/bungaku/info/2015/6t5h7p00000k5sw1.html>

広報 明石

